

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域住民の方々との交流が持つ機会が少なく地域の情報が少ない。	地域の方々が気軽にホームに遊びにこれるような環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> 徘徊模擬訓練や運営推進会議に地域の方々に参加を促す。 独居暮らしの方を中心に定期的な訪問し相談窓口となりサービスの提供を行う。 	12ヶ月
2		家族・利用者様に対しての「思い」「願い」が適格にとらえることが出来てないこともある。	家族の方を含め、今後どのような暮らしをされたいのか、ご利用者様の「思い」「願い」に応えられるよう、支援体制を整える。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に「家族会」を開催する。 ホーム内での催し物の参加を呼び掛ける。 面会に来られた時などに会話する時間を設ける。 介護記録の充実を図りスタッフ1同で情報を共有しながら本人さんの思いを組んでいく。 	6ヶ月
3		夜間災害時の訓練及び連絡体制の見直しが必要。	地域及び法人との連絡調整を見直し、実際の訓練を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 地域参加者及び協力者を募る。(日中、地域交流センターをご利用して頂いている地域の方達に訓練時避難された利用者様の見守りなどをお願いする。) 法人を始め地域の方との連絡網を作成する。 年に2回訓練を行う。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。